

令和6年度秋田県障がい者総合支援協議会 議事要旨

日時：令和6年12月23日（月）

午後1時30分～午後2時40分

場所：WEB会議（秋田地方総合庁舎502会議室）

【出席者】

○ 協議会委員

会 長	田中 勉	公益社団法人 秋田県手をつなぐ育成会 会長
副会長	藤井 慶博	国立大学法人 秋田大学大学院教育学研究科 教授
委 員	菊地 真理	秋田県教育庁特別支援教育課 チームリーダー
	鈴木 憲一	特定非営利活動法人 秋田県精神保健福祉会連合会 理事長
	戸嶋 光成	秋田県障害福祉団体協議会 副会長 (障がい者支援施設ほくと 副施設長)
	中村 絢子	秋田障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー
	牧野 悌子	秋田市福祉保健部障がい福祉課 課長

○ 事務局

障害福祉課 甲谷課長
(調整・障害福祉チーム) 宇佐美チームリーダー
(地域生活支援チーム) 増村チームリーダー、渡部副主幹、草薙副主幹、近藤主事

1 開会

＜司会：増村チームリーダー＞

2 あいさつ（甲谷課長）

本協議会は、障害者総合支援法に基づいて設置されているが、令和3年度からはオンライン開催としている。

障害者総合支援法は、改正法が令和6年4月1日から施行されているが、共同生活援助（グループホーム）の支援内容として、一人暮らし等を希望する者に対する支援や退去後の相談等が含まれることが法律上明確化された。

併せて、基幹相談支援センターや、地域生活支援拠点等の整備が市町村の努力義務

とされたほか、多様な就労ニーズに対する支援も制度化された。

本日は、「第6期障害福祉計画」及び「第2期障害児福祉計画」の実績について報告させていただくが、委員の皆様には、それぞれのお立場から忌憚のない御意見、御提言をお願いする。

3 議事＜議事進行：田中会長＞

（1）秋田県障害福祉計画・障害児福祉計画について

資料1により近藤主事が説明

田中会長

2頁の（1）－「②地域移行支援、在宅サービス等の充実」の施設入所支援の実績量についてだが、令和5年度の実績量は2,324人となっている。4頁の「福祉施設の入所者の地域生活への移行」の「2施設入所者数の減少」では令和5年度の実績値は2,535人となっているが、こちらの数値は2頁の実績量と同じ数値になるのではないか。数字が違うのは何か理由があるのか。

甲谷課長

確認の上、後ほど回答したい。

田中会長

4頁の「福祉施設の入所者の地域生活への移行」の「2施設入所者数の減少」についてだが、令和3年度、4年度、5年度と数字が出ている。令和3年度、4年度は減少しているが、令和5年度は急激に増えている。何か理由はあるか。

近藤主事

2頁の施設入所支援の実績量は、市町村から報告をいただいている（障害福祉）サービス利用者数で、4頁の施設入所者数の減少に係る実績値は、施設から直接報告してもらっている利用者の減少数なので一致していない。

（4頁の「2 施設入所者数の減少」について）令和4年度から5年度にかけて数字が増えているのは、入所者の高齢化による自然減を理由と考える。

田中会長

（資料4頁にある「2 施設入所者数の減少」について）令和4年度から5年度にかけて実績値が185人ほど増加している。増えているというのは、なかなか考えづらいが、本当に増えているのか。

近藤主事

(施設入所者数の) 減少者数が増えているということである。

田中会長

ということは、令和５年度に２，５３５人施設入所者数が減少しているということか。入所施設の入所者数が２千何人減るというのはあり得ないことだと思う。

令和３年度から４年度にかけて５４人減っているというのはわかるが、令和４年度から５年度にかけて１８５人増えているというのはあり得ない数字だと思う。おそらく減っているのではないか。

甲谷課長

後ほど確認の上、回答したい。

(２) 自立支援協議会ブロック連絡会について

資料２により草薙副主幹が説明

菊地委員

秋田県障害者相談支援体制アドバイザー派遣事業についてだが、具体的にはどのような相談が寄せられているか。

草薙副主幹

後ほど資料４でも御説明させていただくことにしていたが、主に市町村や圏域では解決できないような問題について、広域的な支援を行うということで派遣している。

今年度の相談の内容としては、地域の自立支援協議会からの要請に基づき派遣したものが３件、他には基幹相談支援センターの年１回の意見交換の場へ派遣し、強度行動障害に関する話をしてもらったということがあった。

また、自立支援協議会ブロック連絡会の県内３ブロックに派遣したり、新規の児童の事業所の立ち上げに当たって、放課後等デイサービスや児童発達支援に関するノウハウがないためアドバイザーを派遣してほしいという要請があり、派遣したものもあった。

藤井委員

資料２についてだが、丸印の後に記載しているのは自立支援協議会の課題で、それに対してブロック連絡会で検討した取組を矢印の後に記載しているということか。

草薙副主幹

そのとおりである。

藤井委員

自立支援協議会の課題として「協議会の形骸化」が挙げられている中、協議会に全て課題解決を任せておいても、進む部分と進まない部分が出てくるのではないかな。

（市町村の）自立協議会の自立度を上げつつも、県の方で一定程度助言や援助をしていかなければいけないような課題もあると思う。そういったところを分けて、課題解決の方策をつくってもらえれば、巡り巡って、資料１の数字にも反映されてくると思うので検討をお願いしたい。

甲谷課長

進め方については、検討していきたいと思う。

（３）人材育成部会の活動状況等について

資料３、４により草薙副主幹が説明

藤井委員

資料３の人材育成計画はよくわかったが、そもそも障害福祉に従事する人材の確保も重要な課題になってくると思う。その辺の情報等が何かあったら教えてほしい。

増村チームリーダー

我々としても重要なポイントだと考えている。

人材確保に当たっては、障害福祉サービスの事業所が魅力的な職場だと積極的に周知していくことや、職員の処遇改善を図るなど職場環境を整備したり、ハラスメント対策の推進、事務分担の軽減などを進めていくことが必要だと思っている。

人材育成とともに、人材確保も促進させていきたいと思う。

藤井委員

事業所単位の努力では、人材確保は厳しいところもある。処遇改善なども含めて、国の動きや県の施策などをミックスして行っていくべきだと思うので、検討をお願いしたい。

菊地委員

秋田県障害者相談支援体制アドバイザー派遣事業について、当課が行っている事業とも関連があるため伺いたい。

当課では、切れ目ない支援体制充実促進事業ということで、就学前から学校卒業後まで切れ目ない支援体制で子どもたちの生活全体をみながら、より良い生活、学習ができるようにということで、放課後等デイサービス事業所との連携促進に取り組んできたが、昨年度からはこれに家庭を加え、家庭、福祉、教育の三者での連携促進を図ってきている。

資料1の7頁に障害児福祉サービス等の利用の実績量が記載されているが、放課後等デイサービスの利用は増えてきているようだ。特別な支援を必要とする子どもたちが増えてきているということで、放課後等デイサービスの利用する子どもたちも増えてきているのだと思う。

当課では、福祉と教育の連携の充実に向けて、学校と放課後等デイサービス事業所の連携促進を図っている。モデル市の取組の中には、もともと実施している「自立支援協議会」に、教育と福祉の連携の充実を目指す目的を兼ねながら開催したところもある。グループ協議等実施することで教員と放デイ職員が顔の見える関係性を築くことができ、情報の引継ぎにおいても効果を発揮している。

人材育成のところまでは説明してもらったが、障害に関わる方々の連携促進ということで当課でも取組を進めているが、何か実施している取組等があったら紹介してほしい。

草薙副主幹

市町村でも福祉や教育など、いろいろな分野の人が協議会を通して連携に取り組んでいるという話を聞いている。

医療的ケア児の事業も担当しているが、多職種連携ということで、障害だけでなくいろいろな分野の人が連携して、支援していかなければ解決できない問題も多くあると思うので、いろいろな角度から県の担当者として伝えていきたいと思っている。

人材育成部会やブロック連絡会の中でも話をしていきたいと思うし、協議会の事務局は基幹相談支援センターの職員が担当していることが多いため、そういった方たちにも伝えていけるのではないかなと思う。

菊地委員

先ほど（自立支援協議会の）形骸化という言葉があったが、地域ではそれぞれ課題を抱えていると思うので、自立支援協議会をうまく活用して、形骸化を防いでもらいたい。

放課後等デイサービスの事業所は増えてきているが、連携を進めていくに当たっては、お互いを知ることが非常に重要だと思っている。

4 その他

田中委員

事業所から話を聞く機会が多いが、自治体によって協議会の活動レベルが全然違うようである。

人材育成ビジョンは県の公式Webサイトに掲載されているが、ブロック連絡会やアドバイザー派遣事業についても、情報を載せてもらいたい。

草薙副主幹

人材育成ビジョンだけでなく、アドバイザー派遣事業についても県公式Webサイトに掲載している。

今後もわかりやすいように発信し、周知に取り組んでいきたい。

甲谷課長

資料１の４頁の「福祉施設の入所者の地域生活への移行」の「２施設入所者数の減少」の実績値については、後日、報告させていただきたいと思う。

５ 閉会